

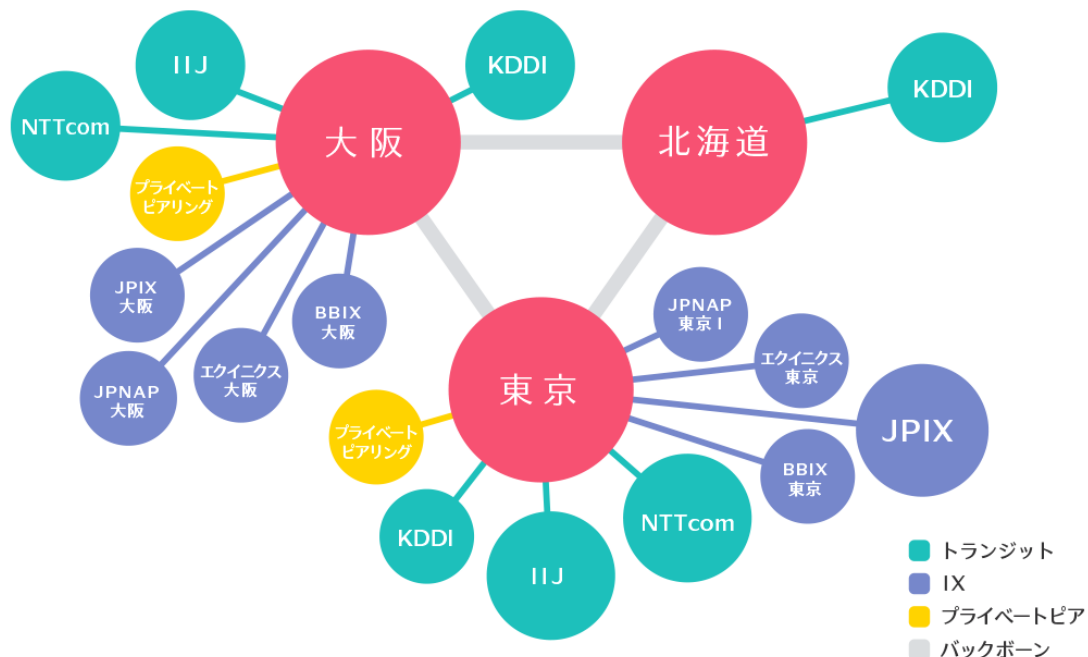
報道関係各位

 2020年4月23日
 さくらインターネット株式会社

さくらインターネット、データセンターのバックボーンネットワークを強化 ～さらなるインターネットトラフィック増にも対応し、安定性向上へ～

インターネットインフラサービスを提供するさくらインターネット株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：田中 邦裕）は、データセンターを支える基幹ネットワークであるバックボーンネットワークにおいて、対外接続および拠点間接続の回線を強化しました。

当社は、石狩（北海道）、東新宿・西新宿・代官山（いずれも東京）、堂島（大阪）の5つの自社で運営するデータセンターにおいて、インターネットインフラサービスを提供しています。国内最大級の規模となるバックボーンネットワークは、日本国内の代表的なIXや数多くの大手ISPと北海道・東京・大阪で接続を行い、高い可用性とトラフィック配信能力を実現しています。当社は、2019年3月から2020年3月にかけて、トランジットおよびIXの増強を実施し、対外接続を520Gbps増強し、総回線容量が1.56Tbpsとなりました。



さくらインターネットのバックボーンネットワークマップ

国内大手IXの日本インターネットエクスチェンジ株式会社（以後、JPPIX）が提供するトラフィックグラフ^{※1}によると、2020年4月は同年2月と比較し30%トラフィックが増加しています^{※2}。このトラフィック増加ペースは、昨年の約3倍となっています。^{※3}

当社は、このような状況を鑑み、今後も継続してバックボーンネットワークの強化に努め、お客さまがより安心して利用できるインターネットインフラサービスの提供に尽力してまいります。

■当社のバックボーンネットワークについて

https://www.sakura.ad.jp/services/datacenter/networkfacility/backbone_map.html

- ※1 JPIX が提供する「トラフィック（首都圏・大阪）」グラフ。https://www.jpix.ad.jp/jp/technical_traffic.php
- ※2 ※1のグラフによると、1Tbps（2020年2月2日）から、1.3Tbps（2020年4月9日）に増加。なお、JPIX TOKYO のピークは、2020年3月11日の約1.38Tbps。
- ※3 JPIX TOKYO の平均トラフィック量をベースに算出。2019年の12カ月間は、約0.5Tbpsから約0.7Tbpsの増加（1カ月あたり0.017Tbps）。2020年の1月から4月はじめの3カ月間で、約0.7Tbpsから約0.85Tbpsの増加（1カ月あたり0.05Tbps）。

※プレスリリースに掲載されている内容は発表時点の情報です。その後、予告せず変更となる場合があります。

■さくらインターネット株式会社について

本 社：大阪府大阪市北区大深町4番20号

設 立：1996年12月23日

従業員：528名

資本金：22億5,692万円

売上高：195億146万円（2019年3月期）

URL： <https://www.sakura.ad.jp/corporate/>

■この件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

さくらインターネット株式会社 広報担当

TEL：03-5332-7070 E-mail：press-ml@sakura.ad.jp